

令和 元年 第 2 回定例会 一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	大久保 建一	<p>1. 登下校における送迎や乗降にルールを設けるべき</p> <p>2. コンパクトなまちづくり、はじめてみませんか？</p>	<p>八雲小学校と役場の間の道路や駐車場で、児童の送迎をしている車両を多く見かける。特に、荒天時や冬期間の登校時には、その一帯が混雑するほど多くの車両が送迎に来て、あらゆる場所で乗降を行っている。 このような現状は児童にとって、とても危険な状況に見える。 保護者や交通の専門家等の意見を取り入れたルール作り、周知させるべきと考えるが、考えを伺う。</p> <p>この表題は、国土交通省の立地適正化計画概要パンフレットの一文です。 この度、八雲町でも立地適正化計画が策定されましたが、この計画の狙いである都市機能・住居機能の集積などは、まさに広い面積の八雲町に必要な考え方であり、インフラや住民サービスの効率化、財政面からも積極的に取り組んでいくべきものとする。 特に、住居区域への誘導は、感情的にも経済的にも大きな負担を伴うものであり、長い時間がかかることが予想される。 岩村町長の目指す持続可能なまちづくりを実現するため、高い実効性を確保できるよう進めていくべきと考えるが、町長の考えを伺う。</p>	<p>教 育 長</p> <p>町 長</p>

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	横田喜世志	<p>1. 消防用車両の過積載対策は</p> <p>2. 熊石地域水産試験研究事業の進捗状況等は</p>	<p>過日報道がされた様に、消火活動等に必要な機材を積むと積載オーバーとなっております。必要な機材を運ぶための対策は取られたのか伺う。</p> <p>5月29日付北海道新聞に「ウニ養殖3年目成果着々」と載っていました。養殖意識も高まり、期待も高くなっている所です。熊石海洋深層水を使ってのダルス育成状況や水槽での魚の飼育等の現時点の進捗状況とこれからの展望を伺う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	三澤公雄	<p>1. 国有林野の管理経営に関する法律改正案が与える影響は？</p> <p>2. 発達障害につきまとう誤解とどう向きあうか</p> <p>3. まちづくりを担う“人財”をどのように育てていくのか</p>	<p>最長50年間、国有林の伐さいを民間へ許可するという今回の改正案が国会で審議されているが、この改正案には伐さい後の植林や森林管理をその民間業者に義務付けていないようだ。そのことから山の荒廃や治水面での不安がぬぐえないが、町としては今の段階でどのように受け止めているのか、伺いたい。</p> <p>八雲町においてもインクルーシブ教育、障害のある子ども達とともに学ぶという姿勢で歩んでいるのだが、外見上わかりづらい障害である発達障害においては、まだまだ世間的には誤解や、それに伴う弊害も多く見受けられるようだ。もっともっと発達障害への理解を深めるためにも「障害のある日常を知ってもらう事」は、大事だと考える。ご家族の日常や学校生活での日常などで起きている事柄を全く知らない人々に共有してもらう機会を町としても作っていくべきではないだろうか。</p> <p>町長の産業振興の仕掛けは1次産業の担い手を含む人材育成において明るい未来を感じています。 一方で、表題に挙げた、まちづくりの人材に関してはどうだろうか。 議会報告会もそうだが、集会を企画しても集まる人数も多様性においても限られた層しか反応していない様だ。 私は、もっと多くの町民や色々な世代の方々に“町政”、“まちづくり”に関わってもらいたいのだが、町長においてはどのように感じていますか。</p>	<p>町長</p> <p>町教育長</p> <p>町長</p>

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	佐藤 智子	<p>1. 「ごみゼロ社会」実現のために</p> <p>2. 町営住宅使用料、滞納を作らない手立てを</p>	<p>町長は町政執行方針の中で「ごみゼロ社会」の実現は課題であり、目指すべき目標だと述べている。</p> <p>行政、住民、事業者の創意工夫で資源を有効活用し、ごみをできる限り少なくする持続可能な循環型社会の実現は町民みんなの願いでもあると思う。</p> <p>国でも循環型社会の形成に力を入れようとしている。</p> <p>わが町では具体的にどのような計画で、ごみ削減を進めていこうとしているのか考えを伺う。</p> <p>町営住宅使用料の滞納があるが、人道的な配慮をしつつも何年かけて、どのように回収しようと考えているのか。</p> <p>又、今後、そうした滞納者を出さないために、滞ったその月から、相談の手を差しのべることが有効な手立てになるのではないだろうか。考えを伺う。</p>	町長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	赤 井 睦 美	<p>1. 施設一体型小中学校を！</p> <p>2. 日本一おいしい学校給食を！</p>	<p>平成 25 年第 4 回定例会で、岡島議員が『学校も含めた公共施設において、質と共に量も検討しなければ、財源不足が生じるのではないか』と質問され、『質、そして量の問題も当然やっていかなければならない。特に、学校を建てても数年で廃校といった無駄のないようにしなければならぬ。人口がどんどん減ってきているので、学校の統廃合も含め、公共施設の統合もやっていかなければならないと思っている。今、当面大きな事業は庁舎や公民館の建て替え等も出てきているので、全庁的な検討部会を作って、学校や町の病院も含め、中長期的な計画に基づいて検討していきたいと考えている』との答弁でした。</p> <p>この時から 6 年。どのような検討の結果、今の総合計画に結び付いたのでしょうか？総合計画を見ると、落部小学校の大規模改修事業、八雲中学校大規模改修事業、熊石小学校校舎等大規模改造事業、熊石中学校屋内運動場屋根葺替改修事業が計画されています。</p> <p>今、八雲町では、小中一貫のコミュニティ・スクールが進められていますが、そこを考えたとき、今ある学校の改修だけではなく、例えば、施設一体型小中学校として、改築又は改修するなど、質はもちろん、量の問題も考えられないでしょうか？</p> <p>日本の食生活も昭和のころとはずいぶん変わり、子どもたちの好き嫌いも変化してきました。そんな中で、子どもたちの健康のためのカロリー計算をし、給食メニューを考えても、それが子どもたちの体内に入らず、捨てることになってしまっただけでは、全てがもったいない結果となります。また、子どもの貧困化が表面化し、栄養のバランスがとれた食事は給食だけと思われるお子さんもいるそうです。こうした課題が多い中で、すでに日々色々な取り組みをされていると思いますが、是非、地場産の食材も取り入れながら、子どもたちが『日本一おいしい給食！』と、喜んで食べ、残食がほとんどない状況になるよう工夫することができないでしょうか？</p>	<p>町 長 教 育 長</p> <p>教 育 長</p>